

示談書

株式会社_____（以下「甲」という。）と_____（以下「乙」という。）は、令和____年____月____日、乙が甲における_____部長という地位の従業員でありながら、甲の売上金____円を業務上横領した事実（以下「本件横領」という。）について、本日、以下のように示談が成立したので、示談成立の証として、本書面2通を作成し、甲乙各1通ずつ保管する。

第1条（謝罪）

乙は、甲に対して、本件横領について深く謝罪する。

第2条（示談金の支払い）

乙は、甲に対して、本件横領の示談金として、金_____円の支払義務があること認め、本示談成立後1週間以内に、甲が指定する口座に振り込む方法により支払う。ただし、振込手数料は乙の負担とする。

第3条（宥恕・被害届等の取り下げ）

甲は、前条の示談金が支払われることを条件として、乙を宥恕し、本件横領について被害届の提出又は刑事告訴せず、既に提出している被害届又は刑事告訴がある場合には、前条の示談金の受領後直ちに取り下げる。

第4条（守秘義務）

甲及び乙は、本件横領及び本示談書の存在及び内容について、みだりに第三者に口外しないことを約する。

第5条（清算条項）

甲及び乙は、本件に関し、本示談書に定めるものの他、何らの債権債務のないことを相互に確認する。

令和____年____月____日

甲 住 所
氏 名

乙 住 所
氏 名